

ブラジル北東のスアペ(Suape)港では、新しいコンテナターミナル建設の計画が持ち上がっています。本号では、この計画を取り巻く情勢と今後考えられる物流への影響についてお伝えいたします。

### 1. Suape 港でのコンテナターミナル建設プラン

ブラジル北東の Suape 港(ベルナンブコ州の南岸、レンフェから 40Km)では、ブラジル国内で重要な貨物輸送の拠点として、新たなコンテナターミナルの建設が検討されており、Suape Port Industrial Complex が、年間 100 万~200 万 TEU ターミナルプランの入札について検討をしている他、何社かが入札に興味をもっているとのこと。

Suape 港は大規模な工業団地の一部として、国内外向けのハブ港になることを目的として建設されました。バルク(石油、化学製品、アルコール類、植物油など)をメインに、コンテナも扱っており、貨物取扱量で



Suape 港地図 (Google map)

はブラジル国内 8 位(2013)ですが、コンテナの取扱量に限ると 5 位(2013)であり、パラナグア港(パラナ州)、リオグランデ港(リオグランデ・ド・スル州)等、経済の中心地とされる南東部や南部の港湾と並び、物流の多い港です。

潮の干満がないため、時間の制限なく年間 365 日稼働できる港でもあり、北部の経済面で重要な役割を担っています。

### 2. 物流に与える影響

昨年パナマ運河の拡張により、14,000 TEU の船舶が航行可能になりました。2015 年の通過隻数は 14,000 隻、2020 年にはその 2 倍になるともいわれており、今後 Suape 港へ入港する船舶も増える見込まれます。

Suape 港にて建設予定の新しいターミナル”Tecon2”は、900 メートルの岸壁に 2 つのバースと、250,000 平方メートルのコンテナヤードを備える予定です。また、将来 100,000 平方メートルまで拡張可能な面積を有しています。水深も天然で 16m と深く、完成すればアジア、ヨーロッパ、米国に接続する大型船舶の拠点として、ますますの利用が期待されます。

### 3. 今後の見通し

“Tecon2”の建設は 3 年前にも議題にあがっていたものの、ブラジル国内の情勢により頓挫していました。今回は、パナマ運河が拡張工事を終え、運用され始めたこともあり計画が進むと考えられており、2018 年初に入札作業が行われる予定です。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html)